

1年		4年	
2年		5年	
3年		6年	理科「自然とともに生きる」

市民団体や地域の会社の人たちが、ふるさと伊丹の自然環境を守り育てるために、さまざまな活動を行っています。

どんなことをしているのでしょうか。デンジソウやオニバス、ホタルなど貴重な生き物の保護活動、身近な生き物調べなど、小学生や中学生が参加している活動もあります。

大きく
なってね



(1) 猪名の笹原を育てよう

「有馬山 みののささ原 風吹けば いでそよ人を 忘れやはする」大弐三位（紫式部の娘）
小倉百人一首にうたわれた「みののささ原（猪名の笹原）」は、平安時代（約1,000年前）の伊丹市周辺に広がっていたといわれる草原です。

猪名の笹原では、ネザサとススキの広がる草原に、カワラナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、キキョウなどが生えていたと考えられていますが、今ではこのような風景は見られません。伊丹市では、昔の風景を想像しながら、身近な生き物や自然のめぐみへの関心を深めることができる場所になることを願って、市民とともに、猪名の笹原の再生に取り組んでいます。



猪名の笹原モデル園（瑞ヶ池公園）



アリアケスミレ（花期：4月ごろ）



ユウスゲ（花期：6～8月）



キキョウ（花期：6～9月）



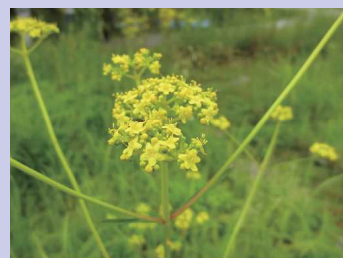
カワラナデシコ（花期：6～9月）



ヒオウギ（花期：8月ごろ）



フジバカマ（花期：8～10月）



オミナエシ（花期：8～10月）



カワミドリ（花期：10月ごろ）

(2) いろいろな活動を知ろう

昆虫館で行われる「生物多様性交流フェスティバル」では、地域の昆虫館で
人たちが中学生、高校生がそれぞれの取り組みを発表しています。



(4) ホタルのくらしを知ろう

昆陽池公園では、ホタルがすめる環境づくりが進められています。里親となった市民が、家で幼虫を育てています。



(6) 伊丹の植物を育てよう

伊丹から姿を消しそうなお木や草花を育て、増やそうという取り組みが、昆陽南公園で進められています。



(3) 貴重な植物を守ろう

オニバスやデンジソウなどの貴重な植物を、公園などで守り育てています。小学校のビオトープにも、オニバスの種をまきました。



◀南小学校のオニバス
▼瑞穂緑地のデンジソウ

(5) チョウがくる庭を作ろう

いろいろなチョウがやってきて楽しめるように、笹原公園でチョウが好きな草花や幼虫が食べる植物を植えています。



(7) 生き物を調べよう

タンポポやツバメ、セミ、カメなど、身近な生き物がすんでいる様子を調べています。

